

第4回 第4次静岡市総合計画策定会議

日時：2021年11月15日（月）

10時00分から11時00分

会場：テレビ会議

1 開会

2 市長挨拶

3 プロジェクトチームメンバー紹介

4 議題

(1) 基本構想（骨格案）について [資料1](#)

(2) 4次総の体系について [資料2](#)

(3) SDGsの取組について [資料3](#)

5 報告事項

(1) 有識者へのヒアリングの実施状況 [資料4](#)

(2) 市民参画の取組の状況
・市民アンケート、市長ミーティング室報告 [資料5](#)

(3) 7つの柱作業部会進捗状況 [資料6](#)

(4) 分野別計画進捗状況 [資料7](#)

(5) スケジュール [資料8](#)

6 閉会

次回会議（予定）

・12月9日（木）10:30～12:00 第5回4次総策定会議

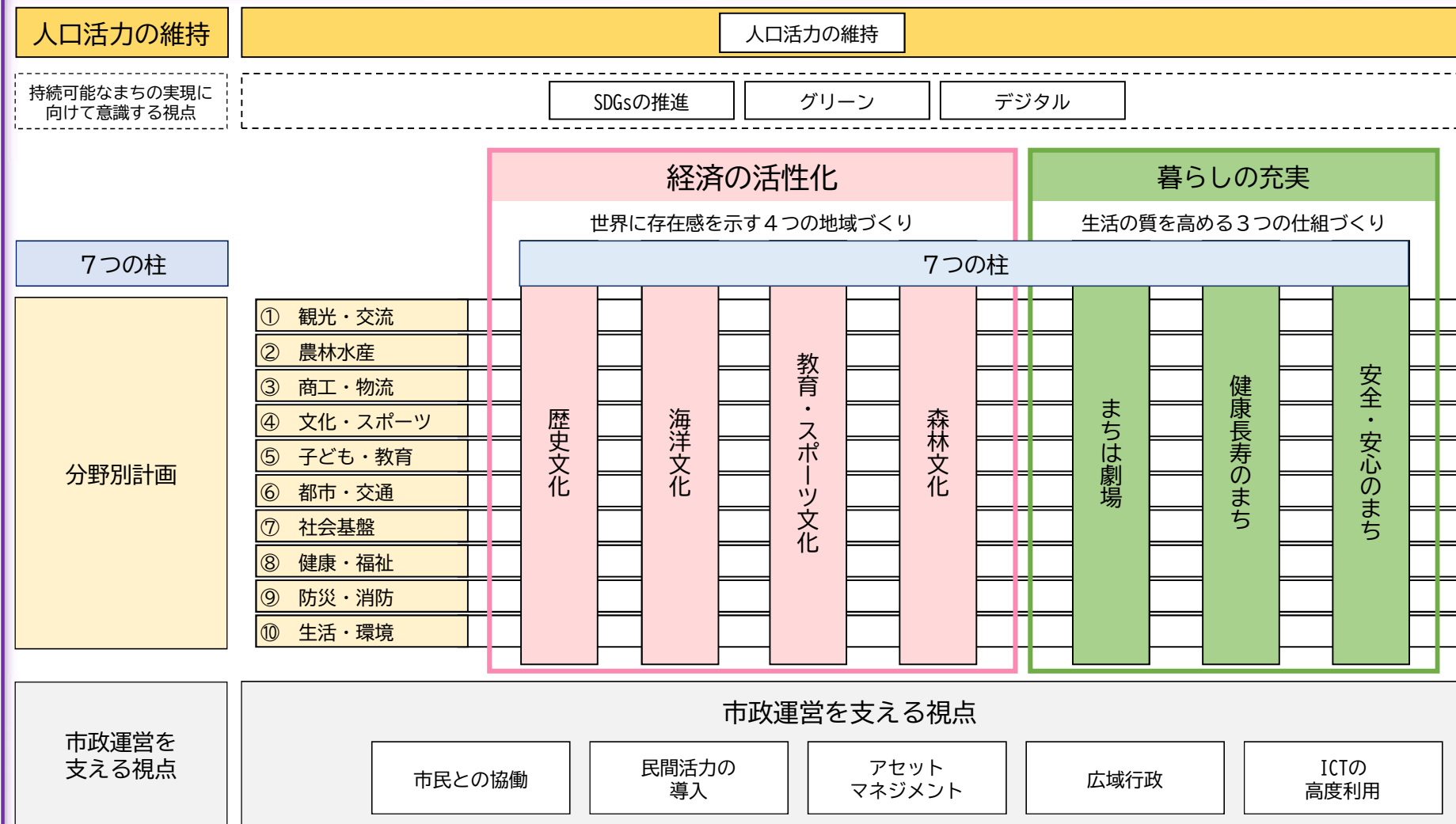
	4 次総のイメージ (項目)	備考
<p>1 まちづくりの目標</p>	<p>(1) はじめに ○静岡市の歴史、置かれている環境、国内・世界における位置付け ⇒「継承」と「進化 (深化)」の 2 側面で推進</p> <p>(2) まちづくりの目標 ○「世界に輝く静岡」の実現 ○「世界に輝く静岡」の定義や、実現に資する都市像を記載 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さんが学び続け、チャレンジすることができるまち ・移住先として、また交流先として人々から選ばれるまち ・世界から注目される国際的なまち <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">「誰一人取り残さない、みんなが輝けるまちづくりに挑戦」</p>	
<p>2 実現に向けた基本的な方針</p>	<p>(1) 「世界に輝く静岡」の実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○静岡には、先人たちが築いてきたオンリーワンの地域資源 = 静岡らしさがある。 ○その資産を磨き上げ、活かすことで、住む人々が誇りを持ち、訪れる人々が憧れを抱くまちを目指す。 ○オンリーワンの地域資源を例示⇒ 地域経済の活性化 暮らしの充実 ○ 地域経済の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史、教育・スポーツ、オクシズ・南アルプス、駿河湾・清水港 など 「産業と経済の振興を図り、国内・世界を牽引していく新たな価値を生みだしていく」 ○ 暮らしの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすいまち、文化・芸術活動のあふれるまち、安全・安心のまち など 「市民の皆さんの暮らしの充実を通じて、誰もが活躍できる社会を目指す」 <p>(2) 人口活力の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「静岡らしさの追求」に必要な人口活力の維持のため、定住人口・交流人口を増やしていく <p>(3) 持続可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続可能なまちづくりを推し進めていく。 	

基本構想

- まちづくりの目標
 - ・「住む人々が誇りを持ち、訪れる人々が憧れを抱く持続可能なまち」である「世界に輝く静岡」の実現を目指す。
- 実現に向けた基本の方針
 - ・人口活力の維持 及び 持続可能なまちづくり に取り組んでいくことを示す。
 - ・「静岡らしさ」を 地域経済の活性化 と 暮らしの充実 の2つの視点から追求し取り組む。

議決事項

基本計画



実施計画

報告事項

実施計画

- 1 SDGs (持続可能な開発目標)の採択**
 - ・ 「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境の三側面から総合的に取り組む。
 - ・ 静岡市は2018年、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として「SDGs未来都市」及び「SDGsハブ都市」に選定された。今後、一層の取組の推進していく必要がある。
- 2 デジタル時代の技術進歩**
 - ・ IoT、AI、自動運転、超高速通信の実現などの技術進歩の速度が、今後一層早くなる。
 - ・ 個人・企業の事業活動の徹底した効率化、消費者の利便性の向上、公共サービスの質の向上・効率化が可能となるため、これらに対応した取組が必要である。
- 3 カーボンニュートラルへの取組の加速**
 - ・ 気候変動に伴う自然災害が増加、激甚化する中、世界各国は様々な地球温暖化対策を実施。
 - ・ 静岡市は令和2年11月定例会で2050年実質ゼロに向けて取り組むことを表明。カーボンニュートラルに向けた取組が必要である。
- 4 人口減少と少子高齢化**
 - ・ 平成25年以降減少を続けており、令和元年には70万人を割りこんだ。
 - ・ 社会の支え手である働く世代が減少し、高齢者の増加が見込まれる。
- 5 価値観・ライフスタイルの多様化**
 - ・ 家族や世帯のあり方、人と人とのつながりが変化している。
 - ・ 人生100年時代を見据えて、ライフステージが変化している。
- 6 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う変化**
 - ・ 新たな生活様式への対応を求められ、コロナ収束までの期間の長さにより変化の大きさが変わり、期間が長くなるほど、変化が大きく定着すると予想される。
- 7 自然災害に対する懸念**
 - ・ 南海トラフ巨大地震の発生確率は今後30年間で70～80%と、地震発生の可能性が高まっている。
 - ・ 近年、豪雨の発生回数が増加している。
- 8 リニア中央新幹線の開業に伴う変化**
 - ・ リニア中央新幹線の開業により、人口・経済活動が東京に吸い取られる「ストロー現象」の懸念がある。
 - ・ 新幹線では、ひかりの増便が見込まれる。
- 9 公共施設の老朽化**
 - ・ 学校・市営住宅や道路、河川、公園、上下水道など、さまざまな公共施設の老朽化が一層進み、修繕・改修が必要になってくる。
 - ・ 公共施設等の老朽化に伴う維持管理や更新費用の増大など、財政状況が予想される。

4次総の基本構想、基本計画の構成案

	3次総	4次総（第1回）	4次総（今回案）
基本構想	1 まちづくりの目標 2 目指す都市像 (1)「歴史文化のまち」づくり (2)「健康長寿のまち」づくり 3 市政のさらなる展開 (1)「創造する力」による「都市の発展」 (2)「つながる力」による「くらしの充実」 4 基本計画の策定	1 まちづくりの目標 2 目指す都市像 3 市政のさらなる展開 4 基本計画の策定	1 まちづくりの目標 2 基本的な方針
基本計画	第1章 基本計画のフレーム (1) 基本計画の位置づけ (2) 基本計画の区域 (3) 基本計画の期間 (4) 基本計画の内容 (5) 実施計画の策定	第1章 基本計画のフレーム (1) 基本計画の位置づけ (2) 基本計画の区域 (3) 基本計画の期間 (4) 基本計画の内容 (5) 実施計画の策定	第1章 同左
	第2章 時代の潮流	第2章 時代の潮流	第2章 同左 ※SDGs・デジタル・グリーンは第2章で強調して示す。
	第3章 目標人口 (1) 本市の人口状況 (2) 目標人口の設定	第3章 持続可能なまちづくり (1) 地域の活力維持 ①人口フレーム ②地域の活力維持の考え方 ※総合戦略が読み込めるように、基本的な考え方を記載する。事業は実施計画で示す。 (2) SDGs ※SDGsに対する基本的な考え方を記載する。事業は実施計画で示す。 (3) デジタル (4) グリーン	第3章 人口活力の維持 (1) 地域の活力維持 ①人口フレーム ②地域の活力維持の考え方 ※総合戦略が読み込めるよう、基本的な考え方を記載する。事業は実施計画で示す。
	第4章 重点プロジェクト (1)「創造する力」による「都市の発展」 歴史都市・文化都市・中枢都市 (2)「つながる力」による「くらしの充実」 健康都市・防災都市・共生都市	第4章 7大構想 ※現在の5大構想のアップデートを想定	第4章（仮）7つの柱
	第5章 分野別の基本的な方向性 ①観光・交流 ②農林水産 ③商工・物流、④文化・スポーツ ⑤こども・教育 ⑥都市・交通 ⑦社会基盤 ⑧健康・福祉 ⑨防災・消防 ⑩生活・環境	第5章 分野別の基本的な方向性 ①観光・交流 ②農林水産 ③商工・物流、④文化・スポーツ ⑤こども・教育 ⑥都市・交通 ⑦社会基盤 ⑧健康・福祉 ⑨防災・消防 ⑩生活・環境 ※基本的な考え方のみとし、具体的な取組、内容などは実施計画で示す。	第5章 同左
	第6章 各分野の政策・施策を推進するための視点 1 市民自治 (1) 知らせる (2) やってみる (3) 深める (4) つながる 2 都市経営 (1) 質の高い行財政運営 (2) 効果的なアセットマネジメント (3) ICTの高度利用 (4) 多面的な広域行政	第6章 各分野の政策・施策を推進するための視点 1 市民自治 2 都市経営	第6章 同左
	第7章 都市構造軸の考え方	第7章 都市構造軸の考え方 (要調整)	第7章 同左
	第8章 各区の取組	第8章 各区の取組	第8章 同左

※市民向けの冊子は、上記の基本構想、基本計画の構成（目次）にとらわれず、高校生でも読みやすいような構成（内容）とする。

また、表紙などのデザインを工夫し、思わず手に持って見たいくなるような作りにする。

4 (3) SDGsの取組について

これまでのSDGsの取組

世界 2030アジェンダ(SDGs)
2030アジェンダ(SDGs)すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、2030アジェンダを実行する。

日本 SDGs実施指針
日本が2030アジェンダを実施し、2030年までに日本の国内においてSDGsを達成するための中長期的な国家戦略として位置づけられている。

SDGs推進における主なステークホルダー
(内閣府作成「SDGs実施指針」抜粋)
省庁間や国と自治体の壁を越え、公共セクターと民間セクターの垣根も越えた形で、広範囲なステークホルダーとの連携を推進していくことが必要不可欠である。
ビジネス(企業)、ファイナンス(金融機関)、市民社会、消費者、新しい公共、労働組合、次世代、教育機関、議会、広報・啓発、地方自治体

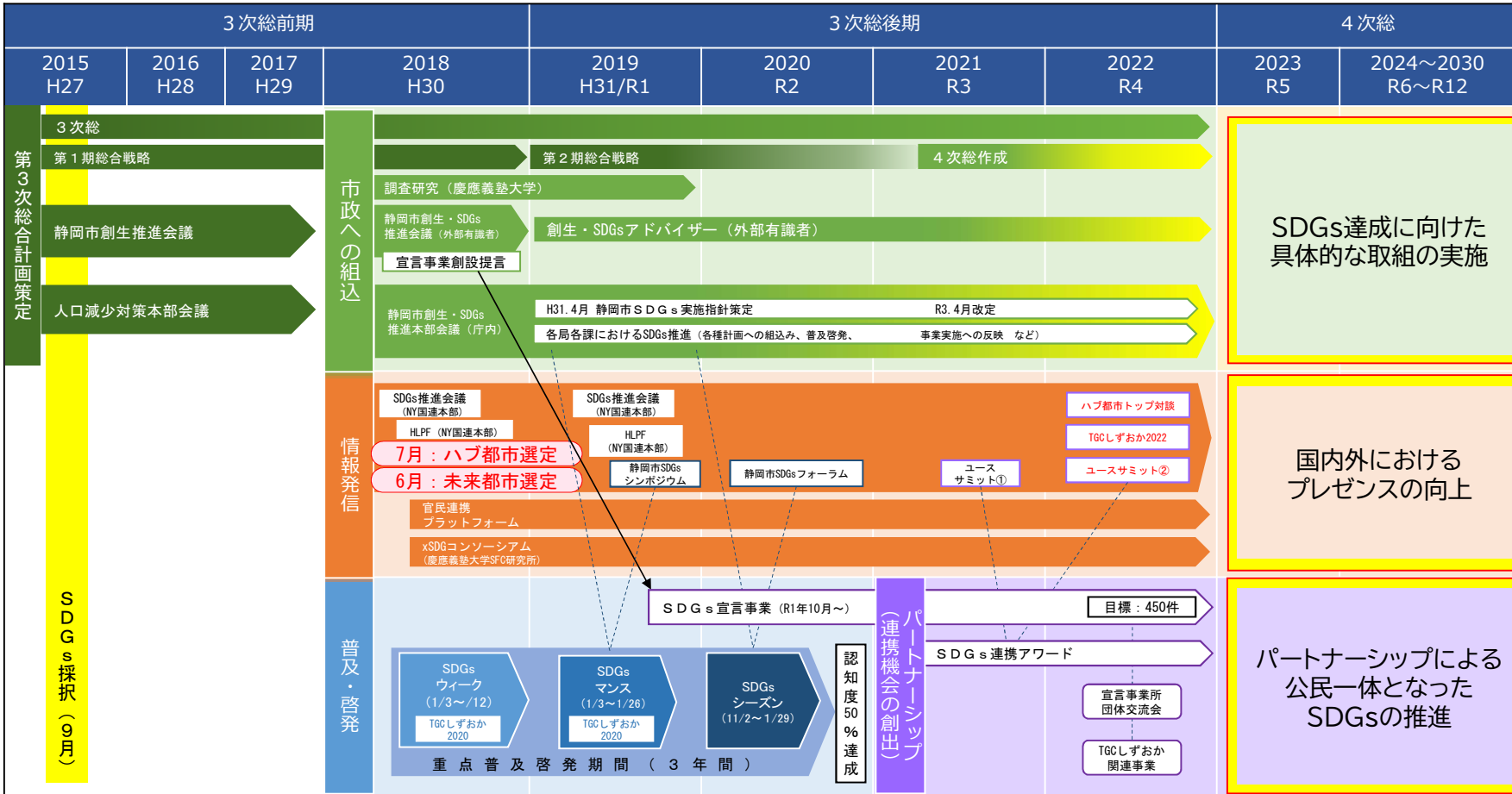
- 地方自治体における役割**
(内閣府「SDGs実施指針」抜粋)
- A. SDGsを原動力とした地方創生の主導
 - B. 各種計画にSDGsの要素を反映
 - C. 部局を横断する推進組織の設置
 - D. 進捗管理のガバナンス手法の確立
 - E. SDGsの取組を的確に設定
 - F. 各自治体の多様で独自のSDGs推進
 - G. 各地域の優良事例を国内外に発信・共有
 - H. 国際的・全国的なイベントの開催
 - I. 多様なステークホルダーへのアプローチ
 - J. 国内外のステークホルダーとの連携
 - K. ローカル指標の設定
 - L. 地域レベルの官民連携の枠組の構築
 - M. 官民連携による地域課題の解決推進
 - N. 登録認証制度の構築

静岡市SDGs実施指針(H31.4)

市政への組み込み
庁内各局・各課、全職員向け。行政としてのSDGs推進し、持続可能なまちを創り上げていく。

情報発信
国内外に静岡市(行政・民間)の取組をPRすることで、静岡市の存在感を高め、国内外への影響力を高めていく。

普及・啓発
⇒R3よりパートナーシップ(連携)
市内の事業所・団体、市民向け。各ステークホルダーの取組収集・発信、連携機会の創出を支援し、パートナーシップを構築しながら、静岡市の独自色を打ち出していく。



SDGs達成に向けた具体的な取組の実施

国内外におけるプレゼンスの向上

パートナーシップによる公民一体となったSDGsの推進

世界に輝く静岡の実現

4次総におけるSDGsの位置づけ (案)

■ 3次総での取組

- ・ 公民連携で進めようとする考え方から、まずは普及啓発に取り組み、市民の認知度66%を達成することができた。
- ・ 普及啓発の推進にあたっては、各種イベントの実施など、公民連携での取組を進めてきた。
この成果を活かして、「パートナーシップ」による公民一体でのSDGsの推進に取り組み始めたことから、4次総では、この取組を本市独自のSDGs推進策とする。

■ 4次総におけるSDGsの位置づけ

- ・ SDGsは、2030年までを目標期間としていることから、基本計画においてSDGsの推進の考え方を示す。
- ・ 推進の考え方には、これまでの取組を踏まえ、
 - ①「パートナーシップによる推進」
 - ②ハブ都市としての責任を果たす
 - ③市としての取組も進める ことを位置づける。
- ・ これらの取組の具体的な内容は、実施計画等で示す。

4次総におけるSDGsの取組

パートナーシップによる 公民一体となった SDGsの推進

- SDGs宣言事業の継続
- SDGs連携アワードの実施
- 宣言事業所・団体交流会の開催



SDGs宣言事業所・団体の連携事例
(株式会社季咲亭「静岡めんま」)

国内外における プレゼンスの向上

- TGCLしずおか2022の開催
- 国際会議の開催
- 産学官民連携イベントの開催
- 講義・講演等への登壇



静岡市SDGsフォーラム
(令和3年3月14日)

SDGs達成に向けた 具体的な取組の実施

- 7つの柱でのSDGsの取組
- 市政とSDGsの関係性の見える化
(総合計画による整理)

4次総におけるSDGs推進の考え方(案)

SDGsを軸み込んだ7つの柱の事業実施によるターゲットを捉えた事業展開
(7つの柱 ロジックモデルへの組込イメージ)

項目	柱1	柱2	柱3	柱4	柱5	柱6	柱7
観光・文化	○	○	○	○	○	○	○
森林・水産	○	○	○	○	○	○	○
農・林・漁業	○	○	○	○	○	○	○
文化・スポーツ	○	○	○	○	○	○	○
まち・人・暮らし	○	○	○	○	○	○	○
都市・交通	○	○	○	○	○	○	○
社会課題	○	○	○	○	○	○	○
経済・福祉	○	○	○	○	○	○	○
防災・減災	○	○	○	○	○	○	○
気候・環境	○	○	○	○	○	○	○

5 (1) 有識者へのヒアリングの実施状況

資料4

3次総の評価や4次総に向けた今後の社会情勢、総合計画期間中8年間で取り組むことが求められるもの、静岡市に期待することなどについて、静岡市と関係のある有識者の方々からご意見をいただいた。

いただいた意見については、4次総策定の中に取り込んでいくほか、具体的な施策等に関するアドバイスについては、関係各課と共有を図り、今後の事業策定に活かしていく。

今後も4次総の策定状況に合わせて、引き続きご意見をいただくとともに、必要に応じて様々なジャンルの有識者の方々からアドバイスをいただく予定。



学習院大学大学
国際社会科学部 教授

伊藤 元重 氏

- ・東京大学経済学部経済学科 卒業
- ・ロチェスター大学大学院経済学部博士課程

経歴

- ・経済財政諮問会議 議員
- ・はごろもフーズ社外監査役
- ・静岡銀行社外取締役 他

10月19日 直接ヒアリング



京都大学
こころの未来研究センター 教授

広井 良典 氏

- ・東京大学大学院総合文化研究科
修士課程修了

著書

- ・人口減少社会のデザイン
- ・持続可能な福祉社会
- ・人口減少社会という希望 他多数

10月28日 オンライン



BBT大学
グローバル経営学科長・教授
一般社団法人INSPIRE 代表理事

谷中 修吾 氏

- ・慶應義塾大学総合政策学部卒業
- ・慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了
- ・東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了

著書

最強の縄文型ビジネス
『イノベーションを
生み出す4つの原則』

10月6日 オンライン



神奈川県立保健福祉大学
イノベーション研究センター 教授

(ゆう へいきょう)
兪 炳匡 氏

- ・北海道大学医学部卒業
- ・ハーバード大学
医療政策・管理学修士課程修了
- ・ジョーンズ・ホプキンス大学博士課程修了

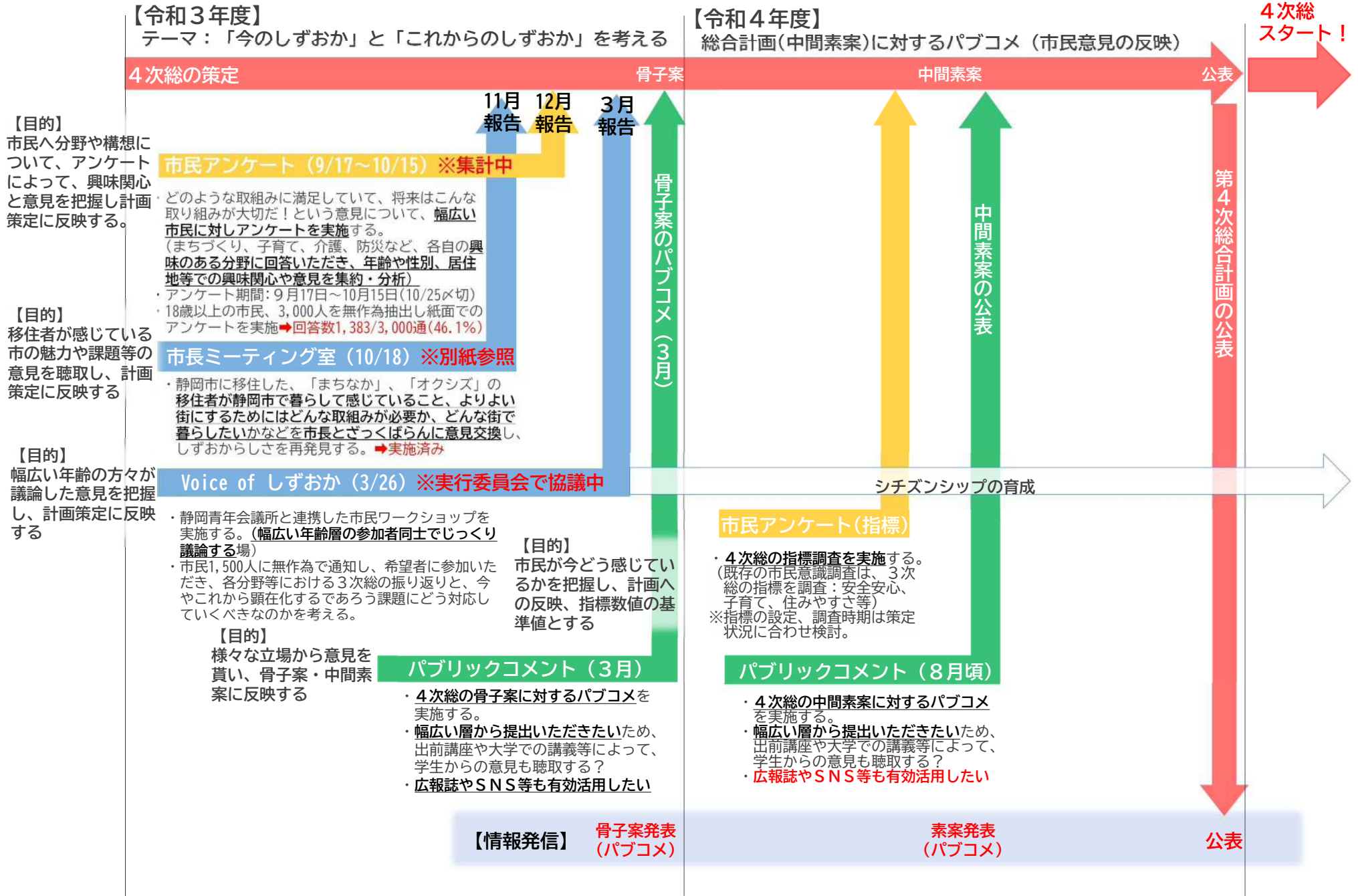
著書

- ・日本再生のための「プランB」
- ・「改革」のための医療経済学

10月7日 オンライン

5 (2) 市民参画の取組の状況

資料5-1



5 (2) 市民参画の取組の状況

資料5-2

令和3年度 第2回 市長ミーティング室 令和3年10月18日(月)

目的：静岡市に魅力を感じ移住してきた方々が感じた静岡市の魅力、実際に住んでみてどう感じるか、どうしたら「しずおからしさ」を磨けるかをざっくばらんに意見交換する。

第1部：都市部へのUターンや仕事をきっかけにIターンされた移住者と都市型地域おこし協力隊の3名

第2部：首都圏からオクシズに魅力を感じIターン移住された移住者と地域おこし協力隊の3名

テーマ：“しずおからしさ”から「これからのしずおか」を考える

参加者 午前の部：10：30～12：00

参加者：静岡市（都市部）への移住者、都市型地域おこし協力隊

内容：① 静岡市に移住した理由、静岡市に感じた魅力（しずおからしさ）

② 静岡市に実際に住んでみて感じること（静岡市の長所と短所）

③ こうなったら静岡市がもっと良くなる



氏名：松蘭(福原さん)

プロフィール

- ・30代女性、書道家
- ・東京都→静岡市葵区
- ・コロナで東京での暮らしが大変だと感じ、伸び伸び子育てできる静岡市にUターン。



氏名：成瀬 基樹さん

プロフィール

- ・30代男性、プログラマー
- ・東京都→静岡市葵区
- ・仕事をきっかけに移住環境の良い静岡市でシェアオフィス「ODEN」を拠点に活動。



氏名：小林大輝さん

プロフィール

- ・30代男性、アートディレクター
- ・東京都→静岡市葵区
- ・首都圏との二拠点で活躍している都市型地域おこし協力隊員で、静岡市へUターン。

地域おこし協力隊

参加者 午後の部：14：00～15：30

参加者：静岡市（オクシズ）への移住者、地域おこし協力隊

内容：① オクシズに移住した理由、現在の仕事や取り組み

② オクシズに実際に住んでみて感じること（静岡市の長所と短所）

③ こうなったらオクシズがもっと良くなる



氏名：水野 嘉彦

プロフィール

- ・20代男性、農家
- ・東京都→静岡市葵区
- ・仕事をきっかけに移住。使われなくなった茶工場を利用してお茶の生産から販売まで実施。

写真なし

氏名：安間 麻衣子

プロフィール

- ・30代女性
- ・東京都→静岡市葵区
- ・出産を機に、東京からのびのびした子育てがしたいとオクシズに移住。元集落支援員。



氏名：山中 里絵

プロフィール

- ・30代女性
- ・東京都→静岡市葵区
- ・大学時代の農業ボランティアをきっかけに、オクシズ地域おこし協力隊として活動。

地域おこし協力隊

市長ミーティング室(R3.10.18) 実施報告

午前の部まとめ（都市部の移住者）

“しずおからしさ”（移住のきっかけや、住んでみて感じたこと）

- ・ 顔の見えるコミュニティがある（家族・友人・近所付き合い）
- ・ 自然を楽しむことが出来る環境が充実している（子育てしやすい環境）
- ・ 公園がきれいに整備されており、充実している（反対に雨の日を楽しむ場所が少ない）
- ・ 街がコンパクトで便利（自転車だけでも生活に困らない）

こうなったら静岡市がもっと良くなる

- ・ 若者がチャレンジする場所や機会、それを後押しするムードがまちにあると良い。
→ 穏やかな人柄が良いところでもあるが、アグレッシブな若者が活躍できる場があると良い。

移住促進について

- ・ 移住する時は移住することで「困らないか。」というのが一番の心配だったが、コロナ禍を契機としたデジタル化の加速によって解決した。（東京からの移住を考えている方も多くいると思うので、住みやすさや移住しても困らない規模の街であることを発信すると良い。

- **豊かな自然環境やコンパクトな街に魅力を感じている。**
穏やかな市民性は魅力があるものの、その中でもチャレンジする若者の支援も必要



午後の部まとめ（オクシズの移住者）

“しずおからしさ”（移住のきっかけや、住んでみて感じたこと）

- ・ 本山茶に魅力を感じた。また、山、川、海などの自然、キャンプや温泉などが魅力的である（自然豊かな地域環境）
- ・ よそから来た人に嫌な顔をしない、人が温かい。

こうなったら静岡市がもっと良くなる

- ・ 病気になった時に街に行くことが難しいので医療体制やアクセス性の向上が図られると良い。
- ・ 移住を希望しても借りられる空き家が無く、機会を喪失しているので良い仕組みがあると良い。
- ・ 今は人と人とのつながりで、買い物なども成立しているが、デマンドバスがもっと使いやすくなると良い。

移住促進について

- ・ 移住体験が出来る施設があれば、短期・中期の移住を体験できるので次のステップにつながる。
- ・ 子育て世代はアウトドアやオーガニックなどに関心が高いので、オクシズの自然の中でどのような生活が送れるかを伝えられると良い。

- **豊かな自然環境や本山茶、温泉等の地域資源に魅力を感じている。**
中山間地を維持していくために医療体制、交通アクセス等の生活を維持するための取組が必要



5 (3) 7つの柱作業部会進捗状況

資料6-1

4次総 7つの柱作業部会 構成課一覧

柱名	局名	課名	人数	企画課・プロジェクトチーム
歴史文化の拠点づくり 8人	観光交流文化局	歴史文化課	2	【企画課】 乗松・伊熊 【PT】 井上 史華 (人事委員会事務局)
		文化財課	2	
		観光・MICE推進課	1	
	都市局	都市計画課	1	
		市街地整備課	1	
緑地政策課	1			
海洋文化の拠点づくり 10人	経済局	海洋文化都市政策課	2	【企画課】 乗松・伊熊 【PT】 水野 裕介 (駿河区地域総務課)
		水産漁港課	1	
		産業政策課	1	
		産業振興課	1	
	環境局	環境創造課	2	
		ごみ減量推進課	1	
	観光交流文化局	観光・MICE推進課	1	
都市局	都市計画課	1		
教育・スポーツ文化の拠点づくり 11人	企画局	企画課	1	【企画課】 渡邊、森山 【PT】 佐藤 奈緒 (教育総務課)
		アセットマネジメント推進課	1	
	市民局	生涯学習推進課	2	
		環境局	環境保健研究所	
	観光交流文化局	スポーツ振興課	2	
		スポーツ交流課	1	
	経済局	商業労政課	1	
		都市局	新インターチェンジ周辺整備課	
清水駅周辺整備課	1			
森林文化の拠点づくり 12人	経済局	中山間地振興課	2	【企画課】 渡邊、森山 【PT】 芳賀 賢貴 (高齢者福祉課)
		農業政策課	1	
		農地整備課	1	
		農地利用課	1	
		治山林道課	1	
	環境局	環境創造課	2	
		建設局	道路計画課	
	各区		葵区地域総務課	
		清水区地域総務課	1	
健康長寿のまちの推進 10人	保健福祉長寿局	地域包括ケア推進本部	1	【企画課】 伊藤、牧 【PT】 熊谷 茜 (東京事務所)
		福祉総務課	1	
		健康づくり推進課	2	
		介護保険課	1	
		高齢者福祉課	1	
		地域リハビリテーション推進センター	1	
	環境局	環境保健研究所	1	
		経済局	商業労政課	
都市局	交通政策課		1	
まちは劇場の推進 8人	観光交流文化局	まちは劇場推進課	2	【企画課】 下山、田中 【PT】 青山 貴恵 (子ども未来課)
		文化振興課	1	
	経済局	商業労政課	1	
		都市局	都市計画課	
	緑地政策課		1	
	公園整備課	1		
建設局	道路計画課	1		
安全・安心のまちの推進 16人	危機管理総室	危機管理総室	1	【企画課】 伊藤、牧 【PT】 山田 慎 (葵区高齢介護課)
	保健福祉長寿局	福祉総務課	1	
		保健衛生医療課	2	
	環境局	環境保健研究所	1	
		ごみ減量推進課	1	
	建設局	建設政策課	1	
		道路保全課	1	
		河川課	2	
	消防局	消防総務課	2	
		各区	葵区地域総務課	
駿河区地域総務課	2			
清水区地域総務課	1			

5 (3) 7つの柱作業部会進捗状況

7つの柱作業部会日程及び検討内容 (案)

日 程	部 会	具体的検討事項	決定事項	備 考
10/8(金)	第1回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4次総策定の概要 ・ ロジックモデルについて ・ 今後のスケジュールについて ・ 外部市民委員の人選検討 	実施済	・ 7つの部会合同で実施
10/ 26~28	第2回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロジックモデルの検討 (最終アウトカム、中間アウトカムの検討) 		・ 11/15 第4回策定会議
11/29 ~12/1	第3回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロジックモデルの検討 (最終アウトカム・中間アウトカムの検討、 手段、事業の検討) ・ SDGsの組み込み検討 	最終アウトカム、 中間アウトカムの 決定	
12月	第4回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部市民委員とともにロジックモデル検討 (手段、事業へのアイデア出し検討) 		・ 12/9 第5回策定会議に てロジックモデルについ て中間報告 (予定)
1月	第5回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部市民委員とともにロジックモデル検討 (手段、事業へのアイデア出し検討) 		
2月	第6回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロジックモデル検討 (市民委員の意見を踏まえた手段、事業の検討、 骨子案の検討) ・ SDGsの組み込み検討 	骨子案の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2/1 第6回策定会議 ・ 3月パブリックコメ ント実施
3月	第7回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロジックモデル検討 ・ SDGsの組み込み検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会実施回数は各部会 の進捗状況により変動あり

5（4）分野別計画進捗状況

資料7-1

03 静企企第 2318 号

令和 3 年 10 月 29 日

各局・部・課企画主任者 様

企 画 課 長

第 4 次静岡市総合計画策定に係る「分野別部会」の設置について（依頼）

このことについて、現在策定作業中の第 4 次静岡市総合計画（以下、「4 次総」という。）における基本分野について、今後、具体的に策定作業を進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

つきましては、4 次総における各基本分野の目指す姿や政策等の検討・設定に当たり、下記のとおり「分野別部会」を設置し、企画課あてご報告くださいますようお願いいたします。

なお、本依頼は情報共有のため、全企画主任者に送付させていただきますが、とりまとめは各局の企画主任者をご対応いただきますようお願いいたします。

記

1 「分野別部会」について

別紙「分野別部会の設置について」参照

※複数の局・部にまたがる場合は、代表局の企画主任者が関係局の企画主任者と調整を図り、とりまとめていただきますようお願いいたします。

2 提出書類

分野別部会組織表

3 提出期限

令和 3 年 11 月 17 日（水）までに、企画課あてメールで送付してください。

問い合わせ

企画局企画課

政策企画・調整係

tel 221-1020（内線 81-2115）

e-mail kikaku@city.shizuoka.lg.jp

4次総策定：分野別部会の設置について

R3.10.29

1 分野別部会の構成

- (1) 部会長(1名)：局次長（複数の局にまたがる場合は、代表の局次長）
- (2) 副部会長(1～数名)：関係局次長、代表の課長
- (3) 部会員：関係課長
- (4) 事務とりまとめ：関係職員（企画主任者中心、各計画策定担当者等も可）

※事務とりまとめ主任者を選任

調整担当：企画課分野担当者

2 分野別部会の主な役割

- (1) 4次総における10の基本分野について、2030年の目指す姿・現状課題・政策等の検討・設定

※3次総の分野別計画をベースとし、時代の変化を組み込み、修正を加える。

- (2) 庁内策定会議において検討状況について説明（部会長）

3 分野別部会の運営

- ・事務とりまとめ主任者を中心に部会を運営
- ・適宜、会議等を開催し「分野別計画作成シート」をもとに、目指す姿・現状課題等の検討・設定を進める。
- ・令和4年6月頃までに、骨子案を作成する。

第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

様式1

分野	観光・交流
----	--------------

※ 部会を設置し、11月17日(水)までに企画課あて提出してください。

		職	氏名
1	部会長		
2	副部会長		
3			
4	部会員		
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してくだ さい。	◎【主任者】	
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。		
--------------------------	--	--

5 (5) 4次総作業スケジュール

